



かけはし

岩国市立錦中学校だより 第12号

令和6(2024)年9月25(水)

<https://www.edu.city.iwakuni.yamaguchi.jp/site/nishiki-j/>



ひたむきで一生懸命な姿があふれた とてもすてきな錦体祭でした！！

9月21日(土)、雨が心配されましたが、涼しくなり絶好のコンディションの中、第3回小中合同錦体祭が『～ Nishikiっ子 Sprit up ・ すてきな大人へ ～ 「輝勝魂進」』のスローガンのもと盛大に開催されました。

このすてきな錦体祭スローガンは錦清流小・錦中の学校目標に加え、「一人ひとりの魂を輝かせ、勝利に向かってみんなで突き進もう」という思いが込められていました。錦清流小生と錦中生の「ひたむきな姿」が多くの場面でみられ、「一生懸命は楽しい」「一生懸命はカッコいい」を体感できた錦体祭になったのではないのでしょうか。

【開会式】



【選手宣誓】



【準備体操】



【徒競走～突然のオークリー参加】



【大人も参加し白熱した綱引き】



【ミッションインポッシブル】



【赤隊応援合戦】



【白隊応援合戦】



【錦中生のΨ難】



【全校ダンス～最後はハート～】



【一進一退の全員リレー】

実行委員が全体練習を仕切り、応援団が各色の意識を高め、2色が競い合いながら、成長してきました。「徒競走」「綱引き」「応援合戦」「ミッションインポッシブル(小中

合同競技)」「錦中生のΨ難(生徒会企画)」「全校ダンス」「全員リレー(小中合同)」錦中生も錦清流小生も手を抜く者は誰一人いません。応援合戦における「全力の声出し」「機敏な動き」様々な人に感謝を伝える「フレフレコール」、ミッションインポッシブルにおける「清流線への愛」などには心打たれました。錦清流小青山校長が最後のあいさつで言われた通り、錦清流小生・錦中生、君たちが創りあげた錦体祭は「すてき」でした。「今、がんばる」「ここでがんばる」「自分からがんばる」、「今・ここ・自分」を大切にしたすてきな錦体祭でした。錦中学校としては50回目の体育祭、先輩たちから受け継いでいる「錦中魂」をみせつけることができました。「すてきな大人」へまた一歩近づきました。ありがとう！

ご来場いただいた保護者のみなさま、地域のみなさま、終始子どもたちの演技や競技に温かい声援・サポート・拍手をありがとうございました。特に後片付けにおいて、ご協力いただいたことで、子どもたちは記念写真や解団式を円滑に行うことができました。「すてきな大人」の姿を見せていただき、きっと子どもたちは将来同じことを行う「すてきな大人」へ成長します。心から感謝申し上げます。

最後に錦体祭を経験したことのある卒業生のみなさん、後輩の応援に来てくださり、ありがとうございました。錦中生への声かけ、係の仕事を手伝う様子、積極的に後片付けを行う姿、感動しました。これからも「母校への愛」を育んでいってください。「すてきな大人」へ成長している君たちの姿に出逢えて本当にうれしかったです。

錦体祭における生徒会長あいさつから

みなさん、錦体祭お疲れ様でした。みなさんにとって今年の錦体祭は心に残るものになりましたか。僕は、中学校生活最後の錦体祭を良い思い出にすることができました。僕は1・2年生の頃は、勝負事が好きではないので、あまり熱い思いをもつことができませんでした。しかし、今年の錦体祭は自分の役割も増え、前向きに練習に取り組むことで、充実した楽しい錦体祭にすることができました。

みなさんもそれぞれの思いがあると思いますが、より良い錦体祭になるよう練習から一生懸命取り組み、良い行事に創りあげることができたと思います。

種目は、競技する人はもちろん、地域の方にも楽しんでいただける内容を考えました。いかがだったでしょうか。地域のみなさんには、いつも温かく見守っていただいています。今日もみなさんの声援で、錦体祭を更に盛り上げていただき、成功させることができました。ありがとうございました。

小中合同で行う錦体祭は、合同練習の時間が限られていて、難しい面もありますが、年々小中の絆が確実に深まっているのを感じています。来年度も一人ひとりが「錦・美川魂」を燃やし、更に楽しく、白熱した錦体祭を創りあげてほしいと思います。今日は本当にありがとうございました。

すてきな生徒会長のあいさつでした錦体祭を3年間経験してきて芽生えた「自覚と責任」、本番だけでなく「普段の頑張りの大切さ」、「周りへの感謝の気持ち」、「小中の絆の深まり」などを感じ取ることができました。錦体祭における3年生のリーダーシップには感心しました。1・2年生は今年の背中で引っ張る「先輩の後ろ姿」を忘れないでください。

